

事業所における自己評価（放課後等デイサービス）結果（公表）

公表：平成31年3月1日

事業NPO法人 こころ・コミュニケーションの発達支援 まいすてっぷKids

職員全体で実施した自己評価結果（公表）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個別指導室（ぱんだ）と保護者談話室（こあら）の間にきちんとした間仕切りを入れて、夫々独立して使えるようにし、保護者同士の懇談等に使用しやすくしました
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法律で決められている配置基準より1~2名多く（曜日によって異なる）の職員を配置しています。
	③	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	建物の構造上、身体障がいをお持ちの方にはバリアフリー化の対応はできていません。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDACサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	○			職員が揃っての話し合いの時間の確保が難しいのが現状です
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○			30年11月に保護者による評価を実施、いただいたご意見、意向を踏まえて業務、環境改善に努めていきます。すでに取り組んでいる項目もあります
	⑥	この自己評価表の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		支援の質の評価や改善については現在着手しているところですが、昨年度開設したばかりなので、その結果の報告は本年3月初めにホームページや事業所内に掲示してお知らせします
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	開設して1年未満ということで、まずは自己評価をしっかりと行い、その後時期を見て第三者評価を実施したいと考えています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内部の研修（外部講師の招聘も含めて）毎月1回程度実施し、外部研修も必要な研修を受講できるようにしています。また、職員のキャリアアップ計画を行い、自ら学ぶ職員を育成しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか		○		事業所内では行っていますが、他機関、外部の専門機関、医療機関からの情報が入りにくいため、総合的な視点からのアセスメント、課題の分析を行っての支援計画がたてにくいです
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		開所して間もないこともあり、まずは他機関から（医療機関、教育相談等）の情報収集や保護者からの聞き取りが中心になっています。他機関での実施と重ならないように、また子どもさんに負担にならないようなアセスメントツールをどのようなものにしていくかの検討が必要だと考えます。

適切な支援の提供

⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			一人一人の子どもさんのニーズに合ったプログラムを工夫しています。集団活動の中でも、個別の目標を設定し担当職員全員で話し合って決め、終了後は一人一人の子どもさんの状態や職員の関わり方などについて丁寧に振り返りを行っています
⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			子どもさんに必要な支援を「ことば・コミュニケーション」「認知課題」「行動、感情」などの領域でプログラムを工夫しています
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	平日と土曜日の活動は目的、内容等を変えて課題設定していますが、長期休暇等での対応はできていません。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービスを作成しているか	○			個別活動と集団活動を組み合わせて子どもさんに必要な支援を行ってきたいのですが、保護者の方の仕事等の関係で利用の回数が少なく、うまく組み合わせられないこともあります。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
⑯	支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	○			時間の確保が難しいですが、必ず振り返りをして課題を共有しています。
⑰	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録の様式、記載の仕方等に工夫が必要です。
⑱	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性の判断をしているか	○			半年おきに、職員全体で子どもさんの評価と次期課題を話し合い、それをもとに保護者の方の次期ニーズと併せて、次期支援計画を立てています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			子どもさんに必要な支援を「ことば・コミュニケーション」「認知課題」「行動、感情」などの領域でプログラムを工夫しています
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		管理責任者は必ず参画し、可能な限り直接担当者も参画するようにしていますが、療育支援の時間中に事業所を抜けて参画するのが難しい時もあります。
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）連絡調整を適切に行っているか			○	一部の学校とは出来ていますが、全体としては不十分です。今後できるだけ連絡、連携を取り合っていくように考えています。
㉒	就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で支援内容の情報共有と相互理解に努めているか			○	情報共有や相互理解がほとんどできていません。どのような形で情報共有をしていくかが大きな課題です。

関

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまで支援内容等の情報を提供する等しているか			○	当事業所は最年長児が2年生で、現在は義務教育終了後までの療育支援の継続の体制は取っていません。
	㉑	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉒	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現時点では困難だと思います。
	㉓	協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	○			来所が難しい保護者の方との情報共有の工夫が必要だと考えています。
	㉕	保護者の対応能力の向上を図るため保護者に対して等) 家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		学習会やその日の活動から見える子どもさんとの家庭でのかわり方のアドバイス等は行っていますが所謂「ペアレント・トレーニング」は行っていません
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉖	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			保護者の負担にならないように、なるべくわかりやすく説明している。
	㉗	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援を行っているか	○			定期的とは言えませんが、必要に応じて、面談、助言等を行っています
	㉘	父母の会の活動やの支援したり、保護者会等の開催する等により保護者同士の連携が支援しているか			○	今後の検討課題です。保護者会は難しくても、懇談の機会を設けるなど工夫していきたいと考えています
	㉙	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉚	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			平成30年12月から毎月1回おたよりを発行しています。
	㉛	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○			お知らせや次回の活動予定などは必ずプリントにして伝えています

	③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	実施は困難だと思います
非常時 党 委 の 対 応	③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、職員や保護者に周知しているか	○			11月末にマニュアル策定し簡易版を保護者に配布説明し、職員研修を行いました。
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の必要な訓練を行っているか	○			昨年11月に火災発生時の避難訓練をグループ利用の方のみ実施しました。3月には地震を想定した訓練を計画しています。また、災害発生時に備えた物資を備蓄しています。
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修を確保する、適切な対応をしているか	○			研修の実施、職員の自己チェックを行っています
	④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか		○		身体拘束を行うことはありません。クールダウンの必要から活動の場から別の場所に移る場合には説明と了解を得るようにしていますが、支援計画に記載していないので、記載するようにします。
	④⑪	食物アレルギーのある子ども、医師指示書に基づく対応がされているか			○	保護者からの聞き取りのみでしか対応できていません
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有しているか	○			毎日の活動でちょっとしたことでもヒヤリハットとして職員で共有して事故につながらないように環境を整備したり、常に子どもさんの動きに注意を払うようにしています